

The 66th Recitation and Speech Contest

The 66th Recitation and Speech Contest was held on November 3rd, 2016. Ms. Takamizawa and Ms. Ishikawa took part in the contest. Both of them won good performance prizes. Ms. Takamizawa got seriously injured in a handball game, but she learned the importance of having positive attitudes in any difficult situation, and spoke about it in her speech. Ms. Ishikawa recited the famous tea party scene from *Alice in Wonderland*.



高見澤さんのスピーチです

Don't Make Any Limits in Your Life!

Chisa Takamizawa
Kofu Nishi High School

There are a lot of things that we feel helpless about and want to give up on. In those situations, thinking positively will encourage you and will help you keep trying a lot of things. Today, I'm going to talk about what is made from thinking positively.

How do you feel if you face a great difficulty? I'm in the handball club in my school. I started to play when I entered high school. It was fun for me to practice with my teammates. But I injured my left leg in a game in May. Since then, I cannot do a lot of things by myself. Every day, I felt helpless and bitter disappointment until I read a book about Malala Yousafzay.

Do you know what kind of person she is? In 2007, the Taliban started a reign of terror in Pakistan, where Malala's family lived. They deprived the women of their right to an education. Even though she could not go to school because of religious reasons, she kept having the feeling that she wanted to learn. The Taliban shot her for speaking against them. After she was shot, she continued to raise her voice. She is a brave and strong girl who confronted danger, risking her life.

There is a Paralympics athlete who is from Yamanashi. His name is Toru Suzuki. In his high school days, he was a handball player. His team was excellent. However, he had to have his leg amputated. After that, he started to practice the high jump. He could not continue to play handball, but he still wanted to see his Olympic dream come true again. Then he made efforts, one after another, and he competed in the Paralympics, which is the fifth time for him, this year. Unfortunately, he did not win a medal in this Paralympics, but he commented very positively, "I'll be 40 years old in the Tokyo Paralympics, but since I have a chance, I want to try again for the next Paralympics."

The Great East Japan Earthquake happened in 2011, and a lot of people lost their important things, houses, friends, families, and memories. A 14-year-old girl said goodbye to her mother under the debris, and escaped from the tsunami alone. She must have regretted it and got discouraged many times. In a speech she made last year, she said, "I think that to live by thinking positively and working hard is just the favor for my family who has passed away, and I want to live to be able to get back as many things as I lost in the great earthquake."

All of these people are my heroes because they were positive and determined in the face of adversity. "Be positive" is my favorite phrase. Because of my injury, I cannot do many things now but I will persevere by thinking positively. Losing and being limited is very hard, but I will be able to overcome everything with these three feelings, "Don't get discouraged," "Don't lose," and "Do your best." I want to tell all of you: Don't give up if you are in a bad situation. If you keep thinking positively and keep trying, you can overcome any obstacle you face. I believe in your success.

弁論の部 2年1組 高見澤 千咲さんの感想

① 練習で苦労したことは？

It was hard to remember my speech because I had never given such a long speech in English. It took me a very long time to remember it.こんなに長いスピーチを英語でするのは初めてだったので、覚えるのが大変でした。覚えるのにはとても時間がかかりました。

② 気に入ってる、工夫した、頑張った箇所は？

I devised various ways of telling the audience how I felt. I tried to convey my feelings with gestures and emphasize the important words.自分の感じていることを伝える方法を工夫しました。ジェスチャーや大切な言葉を強調することによって気持ちを伝えました。

③ 県のコンテストの感想は？

On the day of the contest, I was nervous because I spoke in front of a large audience, but at the same time, I enjoyed making my speech in English. Although I couldn't win a good prize, it was a very good experience for me.大勢の前だったので緊張しましたが、同時に英語で伝えるということを楽しむことができました。入賞はしませんでしたが大変良い経験になりました。

④ 今後の抱負は？

I want to come into contact with many different languages and cultures so that I can widen my view. First, in order to enhance my English ability, I will try hard to pass STEP.自分の視野を広げるために、たくさんの異なる言語や文化に触れたいです。まず第一には、自分の英語力を高めるために、英語検定に合格することを目標にがんばろうと思います。



暗唱の部 1年4組 石川 歩未さんの感想

① 練習で苦労したことは？

It was difficult for me to change the tones of my voice from character to character. Especially, I had trouble playing the Mad Hatter because I had to change my voice into a low tone.キャラクターごとに声のトーンを変えることです。特にマッドハッターの低い声には苦労しました。

② 気に入ってる、工夫した、頑張った箇所は？

I tried hi-toned ways of speaking and girlish gestures and practiced them every day to express how pretty Alice is.アリスの女の子らしさを表現するために、声のトーンやジェスチャーを工夫して、毎日練習しました。

③ コンテストの感想は？

I knew that the level of the other participants was very high and that I had to do a lot of things to improve my English. I was lucky to be given such a good opportunity.周りのレベルの高さ、そして自分の未熟さを知ることが出来ました。とても良い機会だったと思います。

④ 今後の抱負は？

I will try to improve my pronunciation and someday I'd like to speak like a native speaker. I will also take advantage of every chance I get to learn and master English.発音を向上させて、いつかネイティブのように話したいです。またあらゆる機会をとらえて英語の学習に励み、マスターしたいです。

Nishi-ko attended the English Debate Contest again!



The Yamanashi Cup 2016 English Debate Contest was held at Kofu Showa High School on October 16th. 16 teams from 15 high schools (甲府西、北社、韭崎、甲府第一、甲府南、甲府東、甲府和昭、白根、市川、都留、上野原、都留興譲館、吉田、山梨学院、駿台甲府) took part in this commemorative contest. Our team was made up of five second graders and two first graders. It was a shame that we were not able to get a prize as a team despite our elaborate preparation, but we were delighted that Yu Yoshida(吉田有2-4) and Miyu Higashika(東家未夢1-6) won the Best Debater Award. The proposition this year was 'The Japanese government should adopt a social security system that provides a basic income to all Japanese citizens.' (日本政府は、日本のすべての市民にベーシック・インカムを給付する社会保障制度を採用すべきである) The theme seemed beyond high school students at first, but it was a good experience for us to know about the present situation of Japanese welfare system or social security.

ベトナム訪問団来校

日本政府が実施するJENESYS2016事業により来日したベトナムからの訪問団が2月9日に本校を訪れました。25名の中・高校生は日本語を学習しており、本校生徒と授業や放課後の部活動を通して交流し、また何人かは本校の生徒の家庭に10日から12日までホームステイをしました。

9日には3つのグループに分かれて1年次の授業に参加しました。国語の授業では「じゃんけん」や「あっちむいてホイ」などの言葉遊びを行いました。書道では初めて筆に触った生徒もいる中、好きな漢字を選び、西高生のお手本や指導を参考に作品を仕上げたあと、西高生のコメントを聞きました。音楽の授業では、篠笛の演奏に挑戦しました。西高生でも、まだ2時間目の体験でした。授業の終わりには「かごめかごめ」と「さくらさくら」を合奏しました。また、放課後は茶道・箏曲・剣道の部活動を見学しました。授業の中でも部活動見学でもグループごとの活動となったため会話も弾み、ベトナム人生徒と西高生の楽しそうに交流する姿が見られました。



井田さんは、ヒジャブ(頭髪を覆うもの)をかぶっていない真ん中の女子。制服姿です。



たこ焼きパーティー



おじちゃんと一緒に夕食

ホストファミリーを引き受けていただいたお二人を紹介します。

1年6組 三井陽斗君

* 受け入れていただいた動機は？またどんな生徒を受け入れましたか？
他国の文化や人に興味があったこと、外国の人と交流をしてみたいと思ったからです。受け入れたのは、16歳のフー君と17歳のフック君の男子2名です。
* ご家庭でしたこと、出かけたところ、その様子などを教えてください。
たこ焼きパーティー、ゲーム(テレビゲーム、ジェンガ、オセロなど)をしました。また清里ヘスキーにも行きました。ベトナムの人からすれば初めてのことで、最初は戸惑っていましたが、好評が得られて、とても盛り上がりました。
* 最も楽しかったことは？また、最も大変だったことは？
一番楽しかったのはスキーです。初心者とは思えない上達の速さで、後半は会話しながら一緒に滑り、とても楽しかったです。大変だったのは、実は日本語が全然話せず、会話はほとんど英語だったことです。
* 食事はどうでしたか？
サラダ、焼き魚、空揚げ、餃子が好物でした。食事中は特に問題がなく、会話をしながら楽しくできました。また、箸の使い方がとても上手でした。
* 西高の授業等での交流の様子は？
国語の授業で交流した人は、日本語が大変上手で会話も普通にでき、とても楽しかったです。ベトナムでの様子や学校のことも聞くことができ、非常にためになりました。

長期留学生紹介

2年2組の井田みらいさんは、2016年8月から2017年7月(予定)まで、インドネシアに留学しています。井田さんの留学生活についての報告を紹介します。

インドネシアに来てから、早いもので5ヶ月が過ぎました。私が住んでいるバンジャルマシンはインドネシアの中では都会ではないのですが、人や交通量がとても多く都会のように感じます。日本人の観光客が来るところでもないのに、この町に日本人は私とラーメン屋をやっている方の2人だけです。しかし日本を身近に感じる機会は多くあります。走っている車はトヨタやホンダ等、ショッピングモールやホテルには日本料理店があり、化粧品やお菓子にも日本のものをよく見かけます。また、学校行事の1つとしてジャパンフェスティバルを開催する学校もあり、日本のアニメ、漫画の人気を感じます。学校生活は日本と違うことが多く、最初はとても驚きました。授業中にスマホを使ったり飲食したり猫が入って来たりと、基本的に自由です。また授業の半分は以上はプレゼンの作成と発表が占めています。教室が静まり返るということはなく、先生と生徒が会話しているように授業が進んでいきます。授業の3回に1回くらいは先生が来ないので、生徒は楽器を演奏したり、音楽を大音量で流したり、教室の床で寝たりと、とても自由に過ごしています。登校が7時半で下校は14時と、だいぶ早く終わるので、平日でも友達同士で出かけることはよくあります。出かける先はカフェやモールなどで、日本の高校生と同じです。バンジャルマシンには公共交通機関はほぼないので、いつもバイクか車で移動です。

留学前に私が一番気になっていたことは宗教のことでした。これについては実際に日常生活を送っている中で感じて学んでいくことが多いので、留学しないといけない、知らないことがたくさんあったなと思います。イスラム教の人が大半ですが、キリスト教や仏教の人も多くいます。どの宗教にしても信仰の強さは人によりますが、宗教に対しての意識や価値観は日本とは全く違います。モスクやと呼ばれるイスラム教の人が祈りをするための建物は町のいたるところにあり、教会やお寺のようなものもいくつもあります。宗教は生活の一部です。

あつという間に留学生活の半分がもう過ぎようとしています。1日1日を大切に、後悔のないように楽しもうと思います。

1年4組 佐藤ゆきさん

私は将来国際関係の仕事に就きたいという希望があり、海外に大変関心を持っています。東南アジアの発展もめぐるしいので、不安もありましたが、家族と相談して受け入れを申し込みました。チャさんとミアインさんという、もうすぐ16歳の女子二人です。ステイ初日は夕ご飯をみんなで食べて、お互いの家族や学校等の話をしました。翌日の土曜日はバーベキューのあと、白根桃源文化ホールで文化祭があり、お茶会で抹茶を飲んだ後、華道・書道・写真・絵画の展示を見て日本を学ぶことができました。その後、部活動の放送部の関係で、八田かなりあホールに行き、そこでも歌や踊りを鑑賞し、サプライズで二人の紹介をしていただきました。彼女たちは驚いた様子でしたが、とても楽しいひと時を過ごすことができました。夕食後、母に浴衣を着せてもらい、「かわいい！」と喜んでいました。最終日はいちご狩りへ行きました。いちご園も初めてで、驚くと同時に口いっぱいほおぼっていました。
事前説明会で日本のカレー、刺身、すし、味噌汁などは食べないと言われましたが、二人とも好きなものは、「スシ！マグロ！」と言って、大変びっくりしました。母は予定していたメニューを急ぎよ日本のものに変えてくれて、二人ともよく食べ、とにかく日本食はおいしいとのことでした。たくわんや大学芋も好評で、特にいちごは好物でした。ビーフン・香草・パクチーなどは全然食べず、ベトナムでも南北でかなり違うようです。ベトナムでは親と一緒に夕食を作るのが普通だそうで、母の手伝いをしてくれました。
家が古民家であるのに加え寒さも厳しいので、暖房をして10℃位にしたかならず、寒さが本当につらかったと思います。湯船につかる習慣がなく、水のシャワーだけだったので、風邪をひかないか心配でした。普段学校は午後からの授業なので、就寝はいつも3時とのことでした。二人とも元気に起きていました。
山梨日日新聞の記事にチャさんの記事が載り、大喜びでした。彼女の英語力は素晴らしく、ミアインさんは日本語がとても上手でした。学校の英語の教科書を見て、「very easy」と言っていて、大変ショックでした。なんと四か国語の勉強をしているそうです。彼女たちは家族みんなに一生懸命にコミュニケーションをとってくれて、感謝しました。ベトナムの人たちは年上の人を敬う気持ちが強く、祖父には特によく話しかけてくれました。私たちが忘れていた「思いやりの心」について、考えさせられました。二人とも、ずっと笑顔で接してくれて、家族全員がとてもうれしかったです。すべてが刺激となりました。交流によって、勿論ベトナムの文化を知ることができましたが、それ以上に自分の国日本について多くのことに気づくことができました。たいへん良い貴重な経験となりました。